

紋枯病の発生が多い

～要防除水準を超えるほ場では防除してください～

1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

7月21～23日に実施した巡回調査（県内100地点）における紋枯病の発病株率は2.7%（平成1.8%）でやや高く、発病地点率は27.0%（平成16.8%）、要防除地点率は8.0%（平成3.3%）でいずれも高かった（表－1）。特に、県南部で要防除地点率が高かった（表－1、図－1）。

7月24日に仙台管区気象台から発表された東北地方3か月予報によると、8月の気温はほぼ平成並、降水量は平成並か多いと予報されている。

以上のことから、今後も病勢の進展に好適な条件が続くと予想されるため、要防除水準を超えるほ場では以下の防除対策を行う必要がある。

2. 防除対策

1) 現在の発生状況を確認し、発病株率が15%を超える場合は出穂直前～穂揃期に茎葉散布剤を株元に到達するように散布する（表－2）。

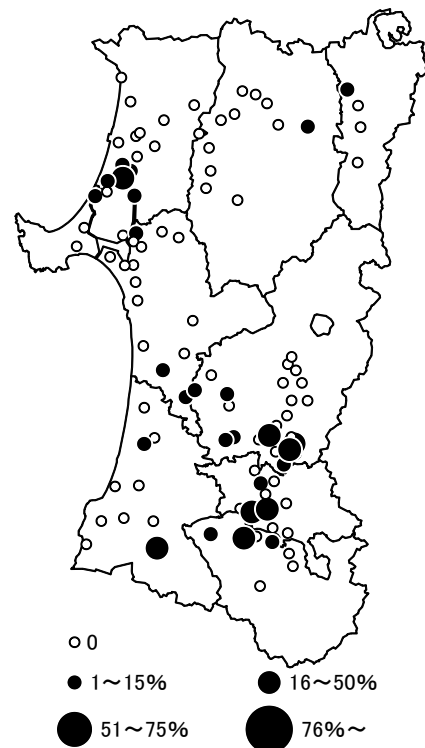
3. 資料

表－1 巡回調査における発生状況（7月21～23日調査）

	発病株率	発病地点率	要防除地点率 ^{※2}
県北部	1.9(1.0) ^{※1}	23.3(11.5)	3.3(1.3)
県中央部	1.6(0.9)	20.0(13.0)	3.3(1.2)
県南部	3.9(2.6)	35.0(22.0)	15.0(5.6)
全県	2.7(1.8)	27.0(16.8)	8.0(3.3)
概評	やや多	多	多

※1 ()は平成値

※2 発病株率が15%を超えた地点率



図－1 巡回調査における発病株率
（7月21～23日調査）

表-2 茎葉散布剤一覧

農薬名	散布量又は希釈倍数	散布時期
バリダシン粉剤DL	3～4kg/10a	
バリダシン液剤5	1,000倍	
バシタック水和剤75	1,000倍	
バシタックゾル	800～1,000倍	
モンカットファイン粉剤20DL	3～4kg/10a	出穂直前 ～穂揃期
モンカット水和剤	1,000倍	
モンカットフロアブル	1,500倍	
モンセレン粉剤DL	3～4kg/10a	
モンセレンフロアブル	1,500倍	

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660
 秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326
 掲載HP <http://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>